

第3学年 学びのカテゴリー「花」

第2学年では、「野菜」を通して「野菜で全校を笑顔にしたい」という願いをもち、収穫できたことの喜びや自分たちが育てた野菜で人を幸せにする達成感を味わいながら活動してきた。その中で、トライアル&エラーを繰り返し、仲間と協力しながら乗り越えることで仲間と共に活動するよさを味わうことができた。第3学年ではより他者との関わりを感じさせる題材としてカテゴリーを「花」とした。花は見て楽しんだり、他者の気持ちを前向きに変容させたりすることができると考えている。また、これまでの学びとのつながりをもちつつ、命あるものを大切に育てていく心を養うことができると考えた。さらに、自分の願いだけではなく、他者の考えを受容しながら活動を進めることを大切にし、自分や仲間を幸せにする方法について探究していく。

第3学年の児童は、自分で選んだ花を育てたり、みんなで花壇をつくったりすることで、生命に関わる様々な気づきを獲得しながら願いの実現に向けて探究を続けている。活動を始めるにあたり、花を育てた経験がそもそも少ない児童が多かったため、個人で花を育てる単元と、集団で花壇を育てていく単元を並行で進めている。

個人の花を育てる単元では、花に対して知識や経験を獲得したり、花を育てる楽しさや喜びを感じたりするために、自分で花を決め、育てた。きれいに咲かせるための方法を調べたり、生育が良くない花についてどうしたらよいかを話し合ったりもした。これらの経験を通して、毎日関わりたいという献身性を身に付けつつある。また、世話をしていたが枯れてしまうというエラーから、命には限りがあるという有限性についても目を向け始めている。

集団で育てる花壇の単元では、「全校の仲間を笑顔にしたい」という願いを根底にもちながら、花壇で育てたい花を調べたり、花壇のデザインを考えたりしている。その中で「仲間の考えを肯定的に受け止め、考えを深めること」を大切にしている。また、多くの人を訪れる花壇を見学したり専門家と対話したりした。その経験から自分たちの花壇に対する願いやイメージをより具体的にもつことができた。

北村 佳之
岩田 尚之
佐藤 睦

3年2組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：花（全105時間）

第3学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		花の栽培を通して出会った問いをもとに、自分や仲間の幸せを生み出すために自分にできることを考え、やりきることができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		花の栽培を通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを相手や目的を意識して伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対する互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		花の栽培や様々な人との触れ合いを通して、自分の長所や仲間の頑張りにつき、自分や仲間の幸せを生み出す方法を考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	第2学年では、野菜栽培でトライアル&エラーを繰り返し、願いをもちながら仲間と共に活動することのよさを味わってきた。3年生では、花の栽培を通して自分の願いだけではなく、他者の考えを受容しながら活動を進めることを大切に、人のためになる経験を積むとともに、自分や仲間を幸せにする方法について探究していく。これまでの学びの過程とつながりをもちつつ、他者や自然についてより理解を深めることができ、子供たちの自己表現に向かうために必要な資質・能力を効果的に育むことができると考え、カテゴリーを「花」と設定した。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	個性の伸長・希望と勇気、努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・自然愛護												
学びを構成する要素	自然 季節 植物 仲間 専門家 全校 命 継承 願い 幸せ 笑顔 喜び 魅力 貢献 働く												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名(時数)	個人：君に決めた！元気に咲いてね！！ほく・私のお花さん！（14時間）					個人：〇〇のために咲かせたい！！ほく・私の花（12時間）					「次へつなぐ 私たちの花壇や思い」（17時間）		
	集団：みんなでつくろう！わくわく花壇（34時間）					集団：花を使って みんなを〇〇に！（28時間）							
主な学習活動	<p>【昨年度の学びを振り返る。 ○今年度の願いをもつ。 ○個人：君に決めた！元気に咲いてね！！ほく・私のお花さん！ ○自分が育てたい花を調べる。 ○花を育てるために必要なことを調べる。 ○花の苗を植え替え、世話を継続する。 ○自分の花の紹介活動を計画し、実行する。</p> <p>【集団：みんなでつくろう！わくわく花壇！】 ○学校の花壇について調べる。 ○きふワールドローズガーデン（可児市）を見学し、花壇について学ぶ。 ○昨年度の花をどうするかを考える。 ○専門家（JAの方）から花壇づくりを学ぶ。 ○どんな花壇にしたいかを考え、花壇を整備する。 ○花壇に来てもらうための方法を考え、実行する。 ○季節の変化やその他のエラーについて考え、対策を行う。 ○夏休み中の世話について考え、計画を立てる。 ○これまでの活動を振り返り、今後の活動の願いや見通しを仲間と共有する。</p>					花の夏世休話みを前計画でしに取実行組すんできたことをもとに	<p>○夏休みの活動や現在の花の様子を振り返る。 ○夏休み前の振り返りをもとに、今後の願いや見通しを再確認する。 【個人：〇〇のために咲かせたい！！ほく・私の花】 ○これまでの探究をもとに、自分の願いをもつ。 ○願いの実現に向けて、必要なものやことを調べる。 ○願いの実現に向けて計画を立て、実行する。 ○中間振り返りを行い、今後の活動を修正する。 ○これまでの活動を振り返り、今後の活動を計画する。</p> <p>【集団：みんなを笑顔に！ニコニコ花壇！！】 ○現在の花壇を見つめる。 ○仲間に花壇についての意識調査をする。 ○自分たちの願いと仲間の意識から目指す花壇を考える。 ○専門家（JAの方）に花壇づくりについて相談する。 ○願いの実現に向けて、花壇を整備する。 ○花壇に来てもらうための方法を考え、実行する。 ○季節の変化やその他のエラーについて考え、対策を行う。 ○冬休みのお世話について考え、計画を立てる。</p>					<p>○これまでの取組を振り返り、大切にしてきたことを確かめる。 ○来年度の3年生のために自分たちにできることを考え、これまでの取組や思いを形にしてまとめ、伝える活動を計画し、実行する。 ○これまでの活動を振り返り、「花が自分たちにとってどんなものか」を考え、これまでの自分の学びや変化、成長を見つめる。 ○これまでの活動に対する思いをまとめ、引継ぎ活動を計画する。 ○計画をもとに引継ぎ活動を実行する。 ○これまでの取組を振り返り、自分の生き方につながるもの確かめる。</p>	
想定される●ジレンマ■エラー【道徳的諸価値】	<p>■計画したことをやろうと思っても、全員で取り組むことが難しい。 ■何度も話し合い、改善しようとしてもうまく進めることができない。 ●人のためと思って活動していたことが、人のためにならず、嫌な思いをさせてしまった。 ●今の活動で、少しでも嫌な思いをする人がいるなら今後の活動をどうしたらよいのだろうか。 【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】</p>						<p>■自分がよいと思って伝えたことが、学級や他学級の仲間に伝わらない。 ●自分がやりたかったことと、全校の仲間が思っていることに違いがあるな。どうすればよいのだろうか。 ●どこまで全校の仲間の声を計画に入れたらよいのだろうか。 【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】</p>					<p>■2年生が本当に知りたいことは何だろうか。 ■自分たちが4月に悩んだように、次の3年生も花壇の花をどうするかを考えることになるから3月末に花壇の花を全て無くしてしまった方がよいのだろうか。 【個性の伸長・希望と勇気・相互理解、寛容・生命の尊さなど】</p>	
人材活用施設	<ul style="list-style-type: none"> ・1部の仲間 ・学校の先生 ・園芸店の人 ・JAの人 ・岐阜ワールドローズガーデンの人 ・岐阜農林高校の人 ・家族 						<ul style="list-style-type: none"> ・1部・前期課程・環境部 ・学校の先生 ・岐阜農林高等学校の園芸科 ・花に関わる仕事をしている人 ・家族 					<ul style="list-style-type: none"> ・2年生 ・卒業する9年生 ・新入生 ・家族 	
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国語：もっと知りたい、友達のこと（話す・聞く） ・社会：学校のまわりの様子 ・算数：棒グラフ ・理科：植物を育てよう 					<ul style="list-style-type: none"> ・国語：山小屋で三日間過すなら ほんで意見をまとめよう（話す・聞く） 仕事の工夫つけたよ ・社会：岐阜市の様子 ・算数：大きな数 円と球 					<ul style="list-style-type: none"> ・国語：伝わる言葉で表そう（書く） 		

3年2組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
		①花の栽培を通して自分の願いや問いを見いだすことができるようにする。 ②願いの実現や問いの解決に向けて、納得がいくまでやりきることができるようにする。	①願いの実現や問いの解決に向けて、自分の思いを伝えたり仲間の考えを肯定的に聞いたりすることができる。 ②仲間との対話を通して、互いに納得できる考えや方法を見だし、活動することができる。	①花の栽培や様々な人との関わりを通して、できたことや頑張ったことに達成感や喜びを感じたりまわりの人も喜ばせようとしたりする態度を養う。
単元名 花を使ってみんなを〇〇に！ (28)				
活動の計画	○自分の願いをもとに、プロジェクトチームをつくる。(問題①) (例) ・プレゼントチーム ・アレンジメントチーム ・花壇の充実チーム ○チームごとに活動の計画を立てる。 ○プロジェクトを実行する。(関係②) (8)	○チームごとにプロジェクトを振り返り、成果と課題を確かめる。(貢献①) ○プロジェクトの成果と課題を全体で共有する。(問題①) ○成果と課題を基に、願いを見だし、プロジェクトの計画を立てる。(関係①) (4)	○プロジェクトの計画や準備を見直す。(例) (関係②) ・プレゼントチーム ・アレンジメントチーム ・花壇の充実チーム ・イベントチーム ○プロジェクトの準備を進める。(問題①) ○プロジェクトを実行する。(問題②) (12)	○プロジェクトを振り返る。(貢献①) ○プロジェクトの成果と課題を全体で共有する。(関係①)、(貢献①) ○これまでの活動を振り返り、自分の変化や成長を見つめる。(問題①) (4)
加除修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 前の活動で1、2年生の子が喜んでくれたから、次はもっとたくさんの方に喜んでほしいな。 長く楽しんでもらえるようにしたい。どうすれば花を綺麗に咲かせ続けることができるのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートやインタビューをしてみると、みんな楽しんでくれたみたいでうれしいな。 今度のもっとたくさんの方に私が育てている花のきれいさを知ってほしいし、もっとみんなを明るく元気にしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の反省を生かして、必要になる物を早めに準備したり、多くの人に参加してもらえるように、お昼の放送を使って紹介したりしたいな。 準備したけど全部使うことができなかつたな。どうすればよかったのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの方が参加してくれたからうれしいな。かぞくの〇〇さんが来てくれたし、今度は何をしようかな。 活動を通して、仲間の考えを聞くことでこれまで以上に楽しい活動にすることができたよ。
実際の姿				
●ジレンマ ■エラー	<ul style="list-style-type: none"> ●計画したことをやろうと思っても、仲間と協力して取り組むことが難しい。どうすればみんなで協力できるのかな。 ■暑い日が続いて、花たちの元気がなくなってきてしまった。 		<ul style="list-style-type: none"> ■活動はしてきたけど、本当に仲間を笑顔にすることができているのかだろう。 ●他のチームも花を使うから足りないな、どうしよう。 	

3年2組 本時案 (3年2組教室)

目標

「私たちのプロジェクトの成果は何か？」について仲間と対話する活動を通して、自分と異なる立場の考えに共感しながら、これまでの経験や自分たちの願いを基に、今後の活動で大切にしたいことを仲間とともに見いだすことができる。

(関係構築力)

本時 (25/28)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け				
<p>1 これまでの歩みを振り返り、共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>私たちのプロジェクトの成果は何か？</p> </div> <p>○問いについて、チームで対話してきたことを共有しましょう。 ○各チームのプロジェクトを聞いて、感想や質問を交流しましょう。(全9チーム)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>花で絵をつくろう チーム【調理員さん、おばあちゃん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理員さんに感謝の気持ちを伝えたり絵を渡したりすることができたからプロジェクトは成功したと思うよ。 ・たくさんの人がパンフレットをもらってくれたよ。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>プレゼント チーム【家庭・おうちの人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人にしおりや扇子をプレゼントして、泣いてしまうくらい喜んでもらうことができたよ。 ・花たちの魅力をおうちの人に伝えることができたよ。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>イベント チーム【前期課程の仲間、図書室に来る人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に花壇に来てもらうことができたよ。 ・花のきれいさや可愛さを知ってもらうことができたよ。 ・イベントに参加した人を楽しんでもらうことができた。 </td> <td style="padding: 5px;"> <p>お守り チーム【家庭、教室・友達、おうちの人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人に、感謝の気持ちを伝えることができたよ。 ・仲間と協力して効率よく作ることができたよ。 ・もらってくれた人が今も大切にしてくれているよ。 </td> </tr> </table> <p>【予想される仲間からの質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれくらいの人に参加してくれたんですか？ ・参加したらみんな喜んでくれたって考えていいの？ ・今、花壇に来てくれている人は何人なのかな？ ・本当に活動の効果はあったのかな？ ・「成功」ってどう基準で決めているの？どのようになっていたら成功って言うていいのかな？ <p>2 全体での対話をもとに、問いを見だし、さらに仲間と対話をする。</p> <p>(例)「プロジェクトの成功」とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手が笑顔になっていたりもらったものを大切にしてくれたりしていたら、成功と言えるのではないか。 ・相手もそうだけど、私たち自身が楽しかったなとか、またやりたいな！やっってよかったなと思えば、そのプロジェクトは成功に向かっていると思うから私は「成功」だと思うよ。 <p>3 本時の学びの振り返りをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームのみんなと考えていた時には、相手のために活動することができたと思っていたけど、他の仲間の話を聞いてみると、本当に喜ばせることができたのかが分からなくなった。自分たちもインタビューやアンケートで確かめることも必要だと感じた。ただ、相手のために自分から工夫したり仲間と協力したりすることが楽しかったし、相手も喜んでくれたから私たちのプロジェクトは成功していたと思う。次は最後のプロジェクトとなるからこれまでのプロジェクトでの成果を生かして、より多くの人笑顔になってくれる活動をしていきたいと思う。 	<p>花で絵をつくろう チーム【調理員さん、おばあちゃん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理員さんに感謝の気持ちを伝えたり絵を渡したりすることができたからプロジェクトは成功したと思うよ。 ・たくさんの人がパンフレットをもらってくれたよ。 	<p>プレゼント チーム【家庭・おうちの人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人にしおりや扇子をプレゼントして、泣いてしまうくらい喜んでもらうことができたよ。 ・花たちの魅力をおうちの人に伝えることができたよ。 	<p>イベント チーム【前期課程の仲間、図書室に来る人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に花壇に来てもらうことができたよ。 ・花のきれいさや可愛さを知ってもらうことができたよ。 ・イベントに参加した人を楽しんでもらうことができた。 	<p>お守り チーム【家庭、教室・友達、おうちの人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人に、感謝の気持ちを伝えることができたよ。 ・仲間と協力して効率よく作ることができたよ。 ・もらってくれた人が今も大切にしてくれているよ。 	<p>○前時までにチームごとにプロジェクトの成果について仲間と対話を行い、自分たちの考えをまとめ、全体交流まで行っておく。本時は、他チームへの感想や質問を交流する場を設定し、自分たちの成果について対話することを通して、仲間と考えたい問いを見いだすことができるようにする。</p> <p>○仲間との対話で、課題や問いについてとことん考えていけるよう、誰もが大切にされる安心感を大切にすることを対話のはじめに確認し、必要に応じて児童に声をかける。</p> <p>○他チームからの感想や質問を聞き、そこで表出された児童の文脈(疑問、興味・関心)をもとに、全体で考えたい問いを見いだせるよう、教師がファシリテートを行う。</p> <p>○全体での対話で見いだした問いをもとに(例)「今後も大切にしたいこと」「来年度に向けて」「プロジェクトの成功とは?」「花の魅力って何?」「幸せとは?」等について、仲間と対話を進める。</p> <p>○全体での対話をもとに、自分たちの成果や課題を見直す時間を確保し、今後の活動に生かせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>これまでの経験や仲間の考えをもとに、自分とは異なる立場の考えに共感し、自分の考えを仲間に伝えている。(関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の様子やワークシートの記述から見届ける。 </div>
<p>花で絵をつくろう チーム【調理員さん、おばあちゃん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理員さんに感謝の気持ちを伝えたり絵を渡したりすることができたからプロジェクトは成功したと思うよ。 ・たくさんの人がパンフレットをもらってくれたよ。 	<p>プレゼント チーム【家庭・おうちの人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人にしおりや扇子をプレゼントして、泣いてしまうくらい喜んでもらうことができたよ。 ・花たちの魅力をおうちの人に伝えることができたよ。 				
<p>イベント チーム【前期課程の仲間、図書室に来る人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に花壇に来てもらうことができたよ。 ・花のきれいさや可愛さを知ってもらうことができたよ。 ・イベントに参加した人を楽しんでもらうことができた。 	<p>お守り チーム【家庭、教室・友達、おうちの人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人に、感謝の気持ちを伝えることができたよ。 ・仲間と協力して効率よく作ることができたよ。 ・もらってくれた人が今も大切にしてくれているよ。 				

3年3組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：花（全105時間）

第3学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		花の栽培を通して出会った問いをもとに、自分や仲間の幸せを生み出すために自分にできることを考え、やりきることができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		花の栽培を通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを相手や目的を意識して伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対する互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		花の栽培や様々な人との触れ合いを通して、自分の長所や仲間の頑張りに関心し、自分や仲間の幸せを生み出す方法を考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	第2学年では、野菜栽培でトライアル&エラーを繰り返し、願いをもちながら仲間と共に活動することのよさを味わってきた。第3学年では、花の栽培を通して自分の願いだけではなく、他者の考えを受容しながら活動をを進めることを大切に、人のためになる経験を積むとともに、自分や仲間を幸せにする方法について探究していく。これまでの学びの過程とつながりをもちつつ、他者や自然についてより理解を深めることができ、子供たちの自己実現に向かうために必要な資質・能力を効果的に育むことができると考え、カテゴリーを「花」と設定した。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	個性の伸長・希望と勇気、努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・自然愛護												
学びを構成する要素	自然 季節 植物 仲間 専門家 全校 命 継承 願い 幸せ 笑顔 喜び 魅力 貢献 働く												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名(時数)	個人：さかせてみよう！わたしの花 (24時間)					個人：〇〇のためにさかせてみよう！私の花 (12時間)					次へつなぐ 私たちの花だんや思い (17時間)		
	集団：みんなでつくろう！わくわく花だん (24時間)					集団：花でえがおをつくろう！ (28時間)							
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の学びを振り返る。 ○今年度の願いをもつ。 【学級全体 みんなでつくろう！わくわく花壇】 ○専門家 (JA) と一緒に花壇について学ぶ。 ○フラーローズガーデンの花壇を見て、みせかたを学ぶ。 ○フラーローズガーデンで働いていた人花壇への願いなどについて対話をする。 ○昨年度に植えてある花をどうするか考える。 ○どんな花壇をつくりたいのか考え、実行する。 【個人探究 さかせてみよう！わたしの花】 ○自分が育てたい花を調べ、決定する。 ○花を育てるために必要なことを調べる。 ○自分が育てたい花を植え、育てる。 ○花を咲かせて、枯れたときどうするとよいのか調べる。 					花夏の前世までをに計取りし組んで行きすことをもとに	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み前や夏休み中の活動を振り返り、今後の見直しをもつ。 【学級全体 花でえがおをつくろう！】 ○花壇や花、学校生活に対する他学年の意識を調査する。 ○花で仲間を笑顔にする活動を計画し、実行する。 ○活動後の他学年の意識を調査する。 ○4年生、環境部、外部の専門家（農林の学生、花屋等）と「花で人を笑顔にするってどういうこと？(仮)」について対話し、これからの活動を考える。 ○仲間を笑顔にするための活動を計画し、実行する。 ○活動後の他学年の意識を調査する。 【個人探究 〇〇のためにさかせてみよう！私の花】 ○たれ、何のために花を咲かせたいのか考える。 ○目的に合った花はどのようなものがあるのか調べる。 ○種から花を育てていくために必要なことや聞くことができる人はいないか調べる。 ○自分の目的に合った花を育てる。 ○これまでの活動の成果と課題を考える。 					<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの取組を振り返り、大切にしてきたことを確かめる。 ○来年度の3年生のために自分たちにできることを考え、これまでの取組や思いを形にしてまとめ、伝える活動を構想する。 ○これまでの活動を振り返り、「花が自分たちにとってどんなものか」を考え、これまでの自分の学びや変化、成長を見つける。 ○これまでの活動に対する思いをまとめ、引継ぎ活動を計画する。 ○計画をもとに引継ぎ活動を実行する。 ○これまでの取組を振り返り、自分の生き方につながるものを確かめる。 	
想定される●ジレンマ■エラー【道徳的諸価値】	<ul style="list-style-type: none"> ■計画したことをやろうと思っても、全員で取り組むことが難しい。 ■何度も話し合い、改善しようとしてもうまく進めることができない。 ■その花に合った育て方を調べてやっていたが、上手く育たない。 ●人が喜ぶと思うとやったことが、少しも嫌な思いをする人がいるからどうするとよいのだろうか。 ●やることに意味を感じるが、少しでも嫌な思いをする人がいるなら今後の活動をどうしたらよいのだろうか。 【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】 						<ul style="list-style-type: none"> ■自分がよいと思って伝えたことが、学級の仲間や他学年の仲間伝わらない。 ■全校の仲間が笑顔になるように思い描いている花壇をつくろうとしているが花がうまく咲かず、花壇がきれいにならない。 ●自分がやりたいと思ったことと、学級の仲間が思っていることに違いがあるな。どうすればよいのだろうか。 ●どこまで全校の仲間の声を計画に受け入れたらよいのだろうか。 【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】 					<ul style="list-style-type: none"> ■2年生が本当に知りたいことは何だろうか。 ■自分たちが4月に植えたように、次の3年生も花壇の花をどうするかを考えることになるから、3月末に花壇の花を全て無くしてしまった方がよいのだろうか。 【個性の伸長・希望と勇気、相互理解、寛容・生命の尊さなど】 	
人材活用施設	<ul style="list-style-type: none"> ・I部の仲間 ・学校の先生 ・園芸店の人 ・JAの人 ・岐阜ワールドローズガーデンで働いていた日比野さん ・岐阜農林高校の人 ・家族 						<ul style="list-style-type: none"> ・I部・前期課程・環境部 ・学校の先生 ・岐阜農林高等学校の園芸科 ・花に関わる仕事をしている人 ・家族 					<ul style="list-style-type: none"> ・2年生 ・卒業する9年生 ・新入生 ・家族 	
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国語：もっと知りたい、友達のこと（話す・聞く） ・社会：学校のまわりの様子 ・算数：棒グラフ ・理科：植物を育てよう 						<ul style="list-style-type: none"> ・国語：山小屋で三日間過ごすならはんで寝具をまとめよう（話す・聞く） 仕事の手伝いしたよ ・社会：岐阜市の様子 ・算数：大きな数 円と球 					<ul style="list-style-type: none"> ・国語：伝わる言葉で表そう（書く） ・社会：市のうづりかわり ・算数：大きな数、棒グラフ ・理科：植物を育てよう 	

3年3組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
単元名 花でえがおをつくらう！ (28)		①花で全校を笑顔にしたいという願いをもとに問題を発見できるようにする。 ②自分や仲間の幸せを生み出すためにできることを考え、行動することができるようにする。	①花で全校の仲間を笑顔にするために、仲間の考えを肯定的に聞いたり、相手や目的を意識して伝えたりすることができるようにする。 ②仲間と互いに納得できる考えを生み出すことができるようにする。	①花の栽培や様々な人との触れ合いを通して、自分の長所に気づき、全校の仲間の笑顔を生み出す方法を考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。
活動の計画	○花で全校を笑顔にするためには、どのタイミングでどのような活動があるのかの見通しをもつ。(問題①) ○今の花壇の状況から、今後どのようにしていくとよいかについて願いに立ち返りながら、確認をする。(問題①) (3)	○花で全校の仲間を笑顔にするためにプロジェクトを考える。(関係①) ○考えたプロジェクトをグループごとに紹介する。(関係①) ○第1プロジェクトをグループごとに実行する。(関係②) (10)	○第1プロジェクトを振り返り、成果と課題を明らかにする。(問題①) ○第1プロジェクトの振り返りをもとにもっと全校の仲間を笑顔にするためにどんなことができそうか専門家と対話をする。(関係②) ○考えたプロジェクトをグループごとに紹介する。(関係①) ○第2プロジェクトの活動計画を立て、実行する。(貢献①) (10)	○ここからの行事に向けて、花で何をどうしていくのか計画を立てる。(問題②) (8)
加除修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式や新1年生のために花を使って何かできそうだな。 今の花壇で、本当に全校の仲間が笑顔になっているのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 花壇に来てもらうだけではなく、花壇に工夫をしたら見て笑顔になってくれなかな。 花壇だけではなく、花を校内に飾ることでもっと多くの人に花を見てもらうことにつながりそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校のみんなを笑顔にできると思ったけど、やってみると全校のみんなを笑顔にすることは難しかった。 自分たちの思いだけでプロジェクトを進めていて、それで笑顔になると思っていたけど、もっと相手のことを考えてプロジェクトを考えていかないといけないな。 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式や入学式には花壇に花をいっぱいにしたいな。 卒業式と入学式で、時期が違うから花を植える時期や花の種類を考えないといけないな。
実際の姿	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式や入学式に花を咲かせたいな。花を咲かせるためには、1月ごろには準備が必要そうだな。 今の花壇では、枯れてしまっている花もあるし、願いを達成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 花に興味をもってもらえるように、花の特徴を書いた看板を作りたいな。 朝、登校してくる子に宣伝をしたら、花壇を見てもらえそう。 		
● ジレンマ ■ エラー	<ul style="list-style-type: none"> ●じっくり花を見てほしいけど、見てくれた人が朝の活動に遅れてしまうのはまずい！どうしたらいいのかな。 ●みんなと協力するのはいいけど、もともとやりたかったこととは違うものになってきてしまっている。 ■笑顔をつくれると思ってやってみたけど、そんなに笑顔になってくれないな。 		<ul style="list-style-type: none"> ●まだ咲いているから植え替えるかどうか迷う。どちらも大切なんだけど、どうしたらいいんだろう。 ■自分たちの考えた活動に参加してくれる人が少しずつ増えてくれるといいなと思っていただけ、たくさんの方が希望してくれた。うれしいけど、どうしたら全校のみんなのために準備することができるの？ 	

3年3組 本時案 (3年3組教室)

目標

「花で全校のみんなを笑顔にする」ためのプロジェクトについて紹介する活動を通して、仲間の思いや外部講師のアドバイスを受容しながら、自分の思いを伝えたり、自分たちのプロジェクトについて見つめ直したりすることができる。

(関係構築力)

本時 (16/28)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け
<p>1 考えているプロジェクトについてグループごとに紹介する。 <花壇をよりよくしようプロジェクト> <花のイベントをしようプロジェクト> <きれいな花を咲かせようプロジェクト> <花の宣伝をしようプロジェクト></p> <p>2 プロジェクトについて意見 ※各グループのプロジェクトの紹介ごとに意見を伝える。 ※外部講師 (日比野さん) からのアドバイスを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>考えているプロジェクトを見直そう。</p> </div> <p>3 プロジェクトの練り直しをする。 ○仲間や日比野さんからのアドバイスを受けて、自分たちのプロジェクトがよりよくなるよう見直し、考えましょう。 ・花壇をよりよくするために看板を立てるだけではなく、もっと花を増やすことも必要なのではないかと意見をもらったけど、苗を増やすことはできないからどうしたらよいのかな。 ・花を切って、花瓶に入れることで校内にも花をたくさんにすることができることはクラスの仲間も賛成してくれたね。花瓶も自分たちで作ったらよりたくさん場所に置くことができるかもと意見をもらったからどうしていくとよいか考えよう。 ・もっと花を知ってもらうために花壇に看板を立てることやパンフレットを作るだけでなく、朝、登校するときにみってもらうよう声をかけたり、少しでも足を止めてくれた子にその花のことについて説明したりできるように自分たちももっと花について知らないといけないね。花を知ってもらうとその花を欲しいと思う子やクラスはいないかな。そのためにも花をもっと増やすことをしていきたいな。</p> <p>4 本時の学びの振り返りをワークシートに書く。 ・私たちのグループでは、校内の置ける場所に花瓶を置いて色々な場所で、花を見てもらうようにしようと考えて、みんなに紹介しました。もっと見てもらいやすくするために、入れる花瓶も工夫した方がいいとアドバイスをもらって、ペットボトルに飾りをつけることになったので、次の活動から、花瓶づくりをしていきたいです。</p>	<p>○第1プロジェクトでの経験を基にしたり、願いに立ち戻ったりしながらアドバイスをすることができるようにするためにどうしてそう思ったのか問い返す。</p> <p>○「意見を受けて、なるほどと思うところはどんなところがありましたか。」と問うことで仲間の意見を受容しながら、意見の取舍選択ができるようになる。</p> <p>○グループで交流するときには、仲間からのアドバイスや専門家の対話の中で分かったことを基に自分の考えを交流することができるようにする。</p> <p>○願いは何なのかということを常に問うことで、「どうしてそのような活動をしたいのか。」と子ども同士が聞き合い願いに立ち返ることができるようにする。</p> <p>○交流を通して、グループで何が決まったのか、次の活動をどうしていくのかについて書くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか 仲間の意見を肯定的に聞いたり、自分の考えをアドバイス受けたことを基に、仲間に伝えたりしている。 (関係構築力) ・発言の様子やワークシートから見届ける。</p> </div>